

# 津田秀夫文庫古文書目録（3）

松本  
藪田  
貫望

## はじめに

写本類が多い。そのような特徴から、本稿においては、おもに写本に着目して解説することとする。

また刊本は、以下の分類項目を立て、目録化した（同目録②刊本参照）。

1. 政治
2. 法制
3. 経済
4. 商業
5. 農業
6. 宗教
7. 思想・学問・教育
8. 歴史
9. 文学
10. 芸能・文化一般
11. その他

写本・刊本を通じた特徴を挙げるとすれば、経済・商業・農業の分類に属する書物が多いことである。社会経済史家としての先生の真骨頂といふべきであろう。詳しくは後段で述べる。

なお目録は本文と反対に六七頁から始まり、五二頁に終わる。

これらの古書目録については、つぎの通りの手順とした。写本目録は、

整理番号順に作成した（後掲の津田秀夫文庫蔵書目録①写本 参照）。

## 一、写本

目録によると、三浦梅園著『備原』（1—【2】（整理番号。以下同）や

平田篤胤著『出定笑語』（4—【6】など著名なものも見られるが、これまで活字化されていないもの、『国書総目録』にも載せられていない

写本の集書傾向としては、農政・村政にかかる書物が多く見られることがある。検地や検見など年貢収納に関わる事柄について詳細に書か

れた書物として、『二葉草』（通番53、8—【3】）と『地方二葉草』（通番68、11—【3】）、『牧民類説』（通番54、8—【4】）が挙げられる。

『二葉草』と『地方二葉草』は、検地について詳しく書かれた書物である。『二葉草』は「新田」と「検地」の章から成る「二葉草」と、「追加」として「新田御検地條目」や検地帳の雛形、「備後國福領検地條目并伺書」「御條目之内奉伺候覚」「奉伺覺」などが書かれている。一方『地方二葉草』は「二葉草」のみである。

『二葉草』は、安永二年に評定所吟味役の江坂孫三郎正恭（松本注：『地方二葉草』の記述による。『二葉草』では「江坂近恭」）が書いたとされている。「二葉草」については『二葉草』と『地方二葉草』を比較してみると、内容的な相違点はほとんど見られない。

『牧民類説』は、「土民仕置之覚」（寛永二十（一六四三）年三月十一日）、「田畠永代売御仕置」（寛永二十年三月）の抜き書き、「新田検地之次第」（享保十一年八月）などの法令、「関東反取」「上方厘取」「小檢見致方并取箇相極考之事」（延享一（一七四五）年八月）などの検見に関するなどをまとめた書物である。卷末に「利根川寛故（花押）」との署名がなされている。

さて『牧民類説』の「新田検地之次第」及び、さきに挙げた『二葉草』の「新田御検地御條目」はともに、享保十一（一七二六）年に発布された「新田検地条目」である。活字文として『徳川禁令考』（前集六 法制史学会編 石井良助校訂 一九五九年 創文社）と、『近世農政史料集』（第一巻 児玉幸多編 一九七五年 吉川弘文館）に所収されてい「新田検地条目」と比較してみると、用字や言葉遣いの点での違いが

散見できる。そして『牧民類説』のみに見られる内容的な違いが、幾つか見られる。まず、十二カ条目の「一、寺社領之境目、吟味之上、不相紛様ニ、帳面ニ可記置事」（『徳川禁令考』より）が抜けている。そして、二十一カ条目（史料1）と二十八カ条目（史料2）の傍線部は、『牧民類説』にのみ記述されている。

### 【史料1】

一家数の内家下庭構の分上畠の位付たるべき也屋敷構の内畠ハ見分の位を付敷林錢可申付若不相応の敷林等仕立候ハ、可遂吟味事

但屋敷構ニハ相応ニ敷林等仕立申事可有之

### 【史料2】

一 檢地帳相究候ハ、御代官御勘定人并下役竿取案内の百姓ト連判致清帳一冊可差出候 壱冊其村名主可相渡候 壱冊ハ御勘定所江御納之事

但附札ニ而書面之竿取為致雇人足召連候ハ、検地帳連判為致候義無用ニ候

『風土蠡測』（通番11、3—【2】）は、植物、山や川、土壤などの自然、気候、治水、「田地検見之事」「田地意得様之事」「田地検地心得様之事」といった田畠の検見、検地に関する事と、さらには「人之生立之事」「陽国陰国人相心入之事」といった人間の身体や性質について書かれている。その説明においては、中国の思想の影響を受けている箇所も多々見られる。また著者の山田好之が摂州の出身であったためか、「五

畿内之事」「鴨川之事」「河内ノ逆ニ流ル、事」「五畿内ノ水遊所之事」といった章が見られる。なお題簽に「此書中ニ田畠検見法詳悉ナリ廿四丁以下」と書き込みがなされている。

『力作考』（通番45、7—【5】）は、弘前藩（推定）において、米の需要に対応する農民の力作（本書では農民一人あたりの耕作可能面積や日数を意味する場合に使用）を算出したものである。まず宝暦期、弘前藩において勘定奉行として財政改革を行った乳井貢の著作『制地考』のあらましについて書かれ（『乳井貢制地考之大略』）、ついでその理論により「農夫老人之力作を六反」と提示し、それを基準に、安永丁酉（六）年と安政六年における力作を算出、比較している。「安政六末年調」の項では、「近年松前鮑場行与申、年々蝦夷地漁場へ出候者」の増加による農民の減少に対する危惧が述べられている。

『治水普請秘事』（通番21、4—【5】）は、治水普請全般について書かれたものであり、内容としてはまず、堤をつくる際の繩張りの仕方、堤切所・欠所の普請についての図による説明、その際の材料や人足などの入用の算出がなされている。そして水勢を弱める装置である蛇籠や牛について、材料や人足など入用の算出、図による説明がなされている。

特に牛については棚牛、笈牛、大聖牛などの種類ごとに、図示され、入用の算出、特徴の説明が詳細になされている。

つぎに、歴史上で起きた事件の記録や実録関係の書物も多く見られる。例えば、赤穂事件については、『介石記追加』（通番17、4—【1】）や、赤穂四十七士について儒学者の浅見絅齋、岩崎守齋、三宅尚齋、佐藤直方、味池修居が評論した『赤穂四十七士辨 四先生之説并味池脩先生説』

（通番67、11—【2】）などがある。また、大塩事件については、『大坂騒動之事』（通番36、6—【1】）や『難波美家解』（通番41、7—【1】）、明和事件については、『明和後風土記』（通番61、10—【2】）がある。尊号事件について書かれたものは四冊あり、『寛政公武問答』（通番1、1—【1】）、『両都秘事談』（通番30、5—【6】）、『中山記』（通番39、6—【4】—（1））、『中山夢物語』（通番40、6—【4】—（2））である。この四冊のうち『寛政公武問答』『中山記』『中山夢物語』は実録で、『中山大納言物』と考えられる。『中山大納言物』については、「日本古典文学大辞典」で中村幸彦氏が梗概を記されており、それによると「閑院宮典仁親王（光格天皇父君）に太上天皇の尊号を奉る件で、中山前大納言愛親と伝奏の正親町前大納言公明が幕閣と対問した一件の実録体小説」と説明されている。筋書きとしては、中山愛親を主人公とし、老中松平定信との問答で、愛親が定信をやりこめるというものである。

なお「中山大納言物」については、本橋ヒロ子「実録・講談『中山大納言』—『中山記』の転化—」（『歴史公論』一九八五年四月）、山本卓「実録もの『中山記』解題と翻刻」（『国文学』第六三号 一九八六年十月）という論考がある。

これらに対して『両都秘事談』は、尊号事件の経過を客観的に記している。「一両卿愛右江閉居并松平主殿頃入来之事」の章もあり、中山愛親を閉門、正親町公明を逼塞に処した件についても書かれており、中山愛親を英雄視する視点はない。そして巻下の巻末に、

## 【史料3】

中山殿越中殿と争ひ給へ御退職の筋はやくも知れん大下馬先の者とも大出来／＼いや／＼中山／＼と誉たりけり。夫ゝ江戸中何事よらす物に勝たる者とも皆々中山／＼と言あへり。三き聲の染物迄も能にしたるを中山張中山染など、言て其頃大流行となりし事誠に江戸は浮氣盛の所なり省略不出来をハ越中ふんとしあさけりあへりけり

と、中山愛親を最脣する江戸市中の様子が書かれている。

さらに同じ書名の写本、あるいは別名の関係にある写本が見られ、興味深い。たとえば『聽訟秘鑑』（通番42、7—[2]）と『聞訟秘鑑』（通番66、11—[1]）、『三葉草』（8—[3]）と『地方二葉草』（11—[3]）である。

『聽訟秘鑑』と『聞訟秘鑑』は、殺害、盜み、金銭貸借、博奕、離縁など多岐にわたる諸事件の処罰について書かれたものである。この二冊については、『国書総目録』の『聞訟秘鑑』の項目に別名として『聽訟秘鑑』が載せられており、比較したところ共通して書かれた項目が数多く確認できた。しかし相違点も散見でき、最も大きな違いは、『聞訟秘鑑』には質地証文や小作証文、田畠の売買に関する事柄について、事細かに書かれていることである。巻頭に書かれている「目録」においては、「十六 質地之事 附質地証文通法之事 小作証文通法之事 質地小作取扱之事」「十七 一書入田畠之事」「十八 一質地証文之事 附取斗方之事」「十九 一永代売之事」「廿 一質地取斗之事」に当たり、特に「十六 質地之事 附質地証文通法之事 小作証文通法之事 質地小作取扱之事」

「之事」について数々の事例を挙げながら詳細に書かれている。

『聞訟秘鑑』については『国書総目録』によると、同じ書名のものが三種類あり、多数の機関で所蔵されていることが確認できる。比較検討する余地があるう。

上記のもの以外で興味深い書物についてつぎに若干、紹介する。

『貢目積』（通番5、1—[5]）は、三巻一冊で、「一上巻 扶持方切米等之高付」「一中巻 大身小身共一人之荷積貢目付」「一下巻 侍大共ニ其徒下々迄合而荷積貢目付」で構成される。上巻は、切米取及び扶持米取のそれぞれの場合の高付について計算したものである。中巻・下巻は、青葉者、歩侍、騎馬（百石取から九百五十取まで）、足軽などの荷積の貢目を計算している。着物、糸だて、柳紙、細引などの荷物一つずつの貢目と、春秋、夏、冬と季節ごとの貢日の合計などを詳細に書いている。

『万聴秘録』（通番52、8—[2]）には、「万聴秘録」とともに、「婦人骨格大意」「小兒骨格大意」「周身汗油之辨」「歩座文辨」「飲食之辨」「癖之辨」が綴じられている。「万聴秘録」は、武士としての心得を書いたものである。内容は「一走込者之事」「一取籠者之事」「一囚人警固之事」「一盜賊之節心得之事」といった災害に対する心得、その他「一百姓一揆之事」「一節心得之事」「一武藝を心懸る事」「一武士之嗜之事」など多岐にわたる。「一武藝を心懸る事」「一武士之嗜之事」には、「一婦人骨格大意」「小兒骨格大意」「周身汗油之辨」「歩座文辨」「飲食之辨」「癖之辨」については、例えば「婦人骨格大意」には、「一婦人

額濃シテ高ク又鼻ニ肉ナキは薄命チナシ」、「小兒骨格大意」には、「一小兒ノ耳輪薄シヲ無カ如ク疵アレハ其流年ニ病難アリ」など、人相や体质、癖などから運命や性格などを判断した記述が見られる。

【覚】（通番55、9—【1】）には、「一御代官所外御用相勤候節入用被下候定書一件」「一慶長年中関原問屋より證文三通写」「一琉球御返翰附因碩碁免帖写」「一和翰集写」が収められている。「一御代官所外御用相勤候節入用被下候定書一件」は、「御代官罷越候論所檢使」「御代官新田見分」などさまざまな場合について、扶持や人足の入用を書き上げている。「一慶長年中関原問屋より證文三通写」は、慶長十一（一六〇六）年、中山道の関ヶ原宿と今須宿の間で九里半街道や北国街道の荷物継立をめぐつて起こった争論における証文の写しである。すでに『岐阜県史』史料編「近世七」（一九七一年五六三頁）の「一四四 関ヶ原宿証文願書留」（天保三年九月写）として所収されている。これによると、証文は慶長十一年、十六年、十九年に出されているが、「一慶長年中関原問屋より證文三通写」には、慶長十一年と十六年の分が書き写されている。

「一和翰集写」は、御内書・御教書・老中奉書などを中心に、その説明と具体的な文書例が紹介されている。

【科定類聚】（通番60、10—【1】）は、律卷、令卷、京都律令の三巻から成る。律卷は主に江戸における犯罪、出入に対する処罰について書かれ、その年代は、貞享四（一六八七）年から延享三（一七四六）年にわたる。令卷は、評定所に関することや、高札、触書、書付について書かれている。その年代は、元禄十（一六九七）年から文化五（一八〇八）年八月にわたる。京都律令は、主に京都・大阪における犯罪、出入に対

する処罰について書かれているが、律卷及び令卷の補足としての役割を果たしている。卷末には、四十七種の入墨の図と、「非田院并小屋預者共隠シ言葉」が記載されている。

【鑾溪先生上書記】（通番21、5—【1】）は、鑾溪先生こと筒井政憲が、老中阿部正弘や牧野忠雅に提出した、政治や海防問題に関する上申書を三通収めている。筒井政憲（一七七八—一八五九）は、江戸時代後期の幕臣で、文化十四（一八一七）年に長崎奉行、文政四（一八二二）年に江戸町奉行、嘉永六（一八五三）年に大目付格のロシア使節応接掛等に任せられている。主な功績としては、町奉行として近藤守重処罰、仙石騒動の審理や天保の飢饉対策などの民政に関わったこと、またロシア使節応接掛として、川路聖謨とともにロシア使節ブチャーチンとの交渉に当たり、安政元（一八五五）年、日露和親条約の締結にこぎつけたことなどがある。

本書の注目すべき点は、津田先生による書き込みが見受けられることがある。まず本書の卷末の筒井政憲の経歴が書き記された丁に、「天保十四・十二・十一 寄合筒井政憲依長崎奉行勤務中事被止御前（続徳川実紀 49 P510）」との書き込みがある。また見返しには貼紙がなされ、次のような書き込みがなされている（写真参照五一頁）。

#### 【史料4】

午七月

災後御救之義ニ付申上候書付 筒井紀伊守

筒井紀伊守災後御救筋二付存寄申上候書面御下ヶ被成右之内問屋諸株古復之儀見込之處勘弁仕申上候書付 遠山左衛門尉

諸問屋株式再興之義ニ付見込之趣申上候書付 遠山左衛門尉

—諸問屋再興調 一上

—日本財政経済史料 卷七二所用

これら三通の書付はいずれも、天保期に出された株仲間解散令によつて停止されていた株仲間を再興させることを上申したものである。勘定奉行・町奉行・町年寄などを中心として、秘密裡に準備・調査が進められ、さらに遠国奉行に対しても管轄地の経済情勢について報告を求めたりした結果、嘉永四（一八五二）年三月、株仲間の再興令が出された。

この経過については、宮本又次『株仲間の研究』（宮本又次著作集第一巻 一九七七年 講談社 二七七頁）で詳述されている。

津田先生は著書『封建経済政策の展開と市場構造』（一九六一年 御茶の水書房）や『封建社会解体過程研究序説』（一九七〇年 塙書房）

などで株仲間再興令に着目され、新たな意義付けをされているが、その時利用されたものであろう。

## 二、刊本

つぎに刊本の集書傾向については、心学書や教訓物、農書、経済に関する書物が多いことを指摘できる。

経済に関する書物には、米相場をはじめとする相場に関する書かれたものが多いが、すでに活字となつてゐる書物が少なくない。整理するなかで興味深いと思われたものについて、以下紹介しておく。

①いろはわけ赦民妙薬集（一一六、通番49）

病状や症状に対する治療法をいろは順で五七五七七の和歌調で説明している。薬は動植物の利用が多く、民間療法的要素が強い。

（例）い：いそくみちあるいていきかきれるならはこへのしるにしほい  
れてのめ（松本注：急ぐ道を歩いて息が切れるなら、はこべ

の汁に塩を入れて飲め）

ろ：ろうかいやきくつのしやうのやまひはこへとかやのみをせん  
しのめ（老獴や奇崛（カ）の症の病には、はこべとかやの実  
を煎じて飲め）

は：はらいたみあるひはしぶりくだらならしやくやくのねをせん  
しのむべし（腹痛みあるひは涉り下りするならば、芍薬の根  
を煎じ飲むべし）

②「米相場帳」（8—①、通番16）

一枚摺。大坂の堂島米市場における帳合米取引で建物米とされた加賀米・筑前米・肥後米や、貨幣相場で取引された金、銭などの取引高が印刷されている。期間は、慶応二（一八六六）年正月八日から同年十二月二十一日までにわたり、慶応二年の大坂相場の動向について詳細に知ることができる。

③前訓（9—②0、通番88、10—⑫、通番89）

9—②0は、小本で刊年不明、敬文舎梓である。10—⑫は、半紙本で安

永二年版、出版書肆は京都の山本長兵衛、小川新兵衛、海老屋弥兵衛である。

内容については異同が見られ、9—20の内容構成は、序文（『前訓』）の説明）→寺子屋の様子を描いた絵図→口教一→口教三→口教四→女子口教四→女子口教→跋文→発起中による口上となっている。

一方、10—12は、序文（『前訓』の説明）→発起中による口上→寺子

屋の様子を描いた絵図→口教一→口教二→口教三→口教四→女子口教→附録司馬温公家範婦人六徳和解→跋文（9—20とは相違）→刊記→出版広告となっている。板木について、口教一～口教四の版には匡郭がないのに対し、女子口教の版には匡郭があるなどの違いが見られるところから、異なった版本を組み合わせて編集された可能性がある。なお「附録 司馬温公家範婦人六徳和解」は、婦人の六徳として、柔順・清潔・不妬・儉約・恭謹・勤労を説いている。

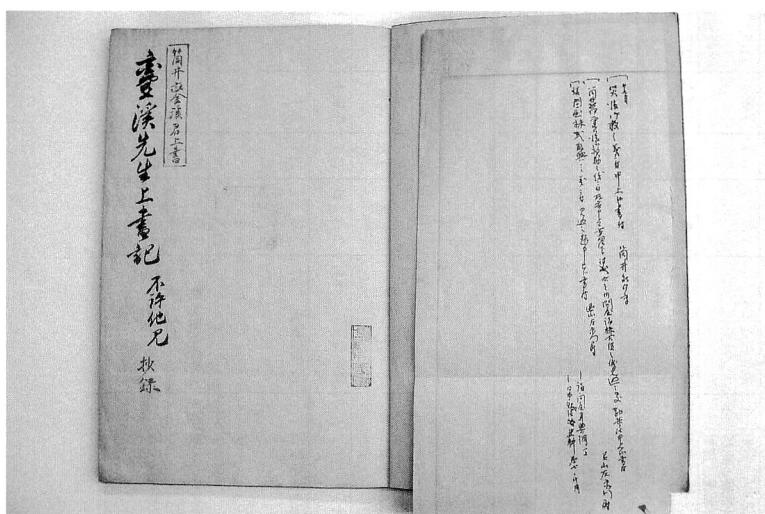
### おわりに

以上、津田先生が収集された古書の紹介をしてきたが、写本については内容の面白さとともに、書写者についても興味が引かれる。

例え、「二御代官所外御用相勤候節入用被下候定書一件」「一慶長年中関原問屋より證文三通写」「一琉球御返翰附因碩碁免帖写」「一和翰集写」というバラバラの事柄を「覚」（9—1）としてまとめた人は、どのような立場にあつた人なのだろうか。また、「土民仕置之覚」や「新田検地之次第」などを編集し、「牧民類説」（8—4）としてまとめ

上げた人間を取り巻く環境はどのようなものであつたのだろうか。もともと存在していた場所や作成過程、伝播過程がわからないため、書写者の性格を特定するのは難しいが、興味が湧く。それだけ、津田先生が収集された写本類は、個性が強く、ユニークなものと言える。

また刊本については、先生の研究軌跡を物語る教育・経済に關係するものが多いことが特徴である。



写本『鑾溪先生上書記』

(右丁に津田先生の書き込みがある)

## (10. 芸能ほか文化一般のつづき)

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「国書総目録」による分類	備考
168	2-⑥-(1)	【謡本】(淡路、橋弁慶、護法、放家僧、鏡引)	親世左近太夫	1冊	44丁	半紙本	22.7×16.6	和漢まじり	元禄3版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
169	2-⑥-(2)	【謡本】(金札、知章、三山、竹の雪、鶯)	親世左近太夫	1冊	48丁	半紙本	22.6×16.5	和漢まじり	元禄3版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
170	2-⑥-(3)	【謡本】(九世戸、項羽、舞車、藍染川、一角仙人)	親世左近太夫	1冊	49丁	半紙本	22.6×16.5	和漢まじり	元禄3版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
171	2-⑥-(4)	【謡本】(岩船、生田敦盛、伴侍、木曾廟書、鐘池)	親世左近太夫	1冊	47丁	半紙本	22.6×16.5	和漢まじり	元禄3版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
172	2-⑥-(5)	【謡本】(御蓑蘿川、元服曾我、絃上、花月、現在鶯)	親世左近太夫	1冊	51丁	半紙本	22.5×16.3	和漢まじり	元禄3版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
173	2-⑦	【謡本】(葛城、水室、小袖曾我、龍虎、住吉詠)	親世左近太夫	1冊	46丁	半紙本	21.9×16.1	和漢まじり	—	—		謡曲	一部写本
174	5-⑯-(1)	【謡本】(鶴剣)	左近太夫	1冊	11丁	中本	18.6×13.0	和漢まじり	貞享3版	鳥飼市兵衛(大坂)		謡曲	
175	5-⑯-(2)	【謡本】(景清)	左近太夫	1冊	13丁	中本	18.8×13.0	和漢まじり	貞享3版	鳥飼市兵衛(大坂)		謡曲	

## 11. その他

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「国書総目録」による分類	備考
176	11-⑤	喚子鳥	蘇生堂主人(津村天長)	2巻2冊	25丁	半紙本	22.9×15.2	和漢まじり	宝永7版	須原屋茂兵衛【印】(江戸)、塙屋喜助(大坂)	蘇生堂(宝永7序)	動物	『雑芸叢書』2、「日本教育文庫」衛生及遊戯篇所収
177	7-⑥	年中故事要言	藤遊燕編集	3冊(7巻7冊のうち巻2・3・5のみ)	19丁	大本	26.0×18.5	和漢まじり	—	—	—	年中行事	
178	8-⑩	御引移御大禮御用掛御役人附	(出雲寺幸次郎)	1冊	35丁	[横豆本]	9.0×12.5	和漢まじり	天保8版	出雲寺幸次郎板、森屋治兵衛(江戸)	—	名鑑	
179	10-⑯	増補大阪町鑑	小川愛道著、楠里散心輯	1冊	68丁	半紙三つ切	7.0×15.6	和漢まじり	宝曆6初版、天保13再版	柏原屋清右衛門、大和屋嘉兵衛(大坂)	—	—	

## (9. 文学のつづき)

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	『国書総目録』による分類	備考
155	10-③	辨芸園鉢菴	糸井君鳳著、中村清成草、戸谷晋寧校、大関惟孝文	2巻2冊	41丁	半紙本	22.6×15.6	和漢まじり	文化9版	中川藤四郎(京都)、泉本八兵衛、前田嘉右衛門(大坂)、鴨伊兵衛、須原屋伊八、西村源六(江戸)	秋田醒齋田代細領(文化8序)	漢詩文	文刻堂刊行 『日本詩話叢書』8所収
156	9-⑥	梅闌発集	森田居敬(梅闌)著、大沼厚子寿校	1冊	27丁	半紙本	22.9×15.1	漢文	天保14版	和泉屋半兵衛(江戸)	大槻崇、厚子寿(天保14序)	—(漢詩文)	「梅闌二集 峰出」という出版予告あり
157	1-⑫	一覽博識	蘿蘆山人	2巻1冊	32丁	小本	17.3×12.1	和漢まじり	文化9版	須原屋茂兵衛、足利屋勘六(江戸)初版、水楽屋西四郎(名古屋)求版	蘿蘆山人(安永9序)	書目	

## 10. 芸能・文化一般

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	『国書総目録』による分類	備考
158	10-⑨	明月余情	—	1冊	9丁	中本	19.1×13.2	和漢まじり	—	大門口 つたや十三郎板	明誠(安永6序)、つたや十三郎跋	芸能	『稀書複製会』二期所収
159	1-⑨	楽焼秘養	中田潜龍子	1冊	32丁	半紙本	22.5×15.6	和漢まじり	元文元版	河内屋喜兵衛(大坂);[別書]■原佐太郎、菊屋宗兵衛、柏原屋佐兵衛	東々主人(享保18序)	茶道・陶磁	巻末に「和漢洋書籍充捌所 京都寺町通四条北江入町 文求堂 田中治兵衛」
160	2-⑤-(1)	[謡本](養老、清経、宋女、葵上、遊行柳)	観世左近太夫	1冊	49丁	半紙本	22.3×16.3	和漢まじり	元禄10版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
161	2-⑤-(2)	[謡本](竹生嶋、朝長、妓糞、三井寺、あこぎ)	観世左近太夫	1冊	48丁	半紙本	22.3×16.4	和漢まじり	元禄10版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
162	2-⑤-(3)	[謡本](玉井、景清、杜若、安達原、当摩)	観世左近太夫	1冊	50丁	半紙本	22.4×16.4	和漢まじり	元禄10版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
163	2-⑤-(4)	[謡本](海士、鞍馬天狗、定家、蟬丸、狂一)	観世左近太夫	1冊	49丁	半紙本	22.3×16.4	和漢まじり	元禄10版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
164	2-⑤-(5)	[謡本](龍田、敦もり、夕顔、隅田河、善知鳥)	観世左近太夫	1冊	51丁	半紙本	22.3×16.5	和漢まじり	元禄10版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
165	2-⑤-(6)	[謡本](春日龍神、船橋、江口、花籠、源氏供養)	観世左近太夫	1冊	50丁	半紙本	22.3×16.4	和漢まじり	元禄10版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
166	2-⑤-(7)	[謡本](芦刈、善界、芭蕉、通小町、天鼓)	観世左近太夫	1冊	52丁	半紙本	22.3×16.5	和漢まじり	元禄10版	山本長兵衛(京都)		謡曲	
167	2-⑤-(8)	[謡本](右近、女郎花、閑寺小町、二人静、浮船)	観世左近太夫	1冊	46丁	半紙本	22.3×16.5	和漢まじり	元禄10版	山本長兵衛(京都)		謡曲	

## 9. 文学

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	『国書総目録』による分類	備考
140	6-⑧	清水物語	(朝山意林庵(素心))	2巻2冊	34丁	大本	27.8×18.3	和漢まじり	寛永15版	—	—	仮名草子	『近世文学未刊本叢書』仮名草子篇
141	8-⑧-(1), (2)	福德三年酒	(十返舎一九)	2巻2冊	5丁	小本	17.5×12.3	和漢まじり	(寛政8版)	(岩戸屋(江戸))	寛政13序	黄表紙	8-⑧-(1)～(5)合冊
142	8-⑧-(3), (4), (5)	質流思外幸	十返舎一九	3巻3冊	5丁	小本	17.5×12.3	和漢まじり	寛政8版	岩戸屋(江戸)	十返舎一九序	黄表紙	
143	10-⑤	訛準笑話	(村田匏庵)	1冊	42丁	半紙本	24.9×17.2	漢文	文政9版	山形屋傳右衛門(伊勢)	匏庵齋叟(文政元力序)	戲文	・卷末に出版目録 ・小品堂藏版
144	9-㉔	昔昔春秋	中井履軒編	1冊	34丁	中本	17.9×11.8	漢文	—	取次所道具屋重蔵(伊勢)、河内屋茂兵衛(大坂)、萬葉堂英大助、東叡山御用御書物所 青雲堂英文藏製	狂文	「著作堂新編雅俗要文」の出版広告あり 「天下一方登龍丸」の豪の広告	
145	5-⑯	あとみよそわか	忍ヶ岡常丸著編	1冊	22丁	中本	18.1×12.6	和漢まじり	—	植村藤右衛門(京都)、河内屋太助(大坂)、山本平吉(江戸)	十返舎一九序	合巻	
146	9-⑯	絵本塵摘要答	(永寿堂主人)	1冊	42丁	半紙本	22.0×15.3	和漢まじり	正保3版	—	—	合巻	
147	5-⑯	痴癖談	(上田秋成)	2巻2冊	31丁	半紙本	22.4×15.8	和漢まじり	文政5版	近江屋治助(京都)、前川六左衛門(江戸)、河内屋茂兵衛、河内屋平七、今津屋辰三郎(大坂)	升窓跋	滑稽本	「岩波文庫」、「上田秋成全集」1、「温知叢書」4、「滑稽文学全集」8、「袖珍名著文庫」、「新型名著文庫」秋成傑作集、「日本隨筆大成」3期3、「有朋堂文庫」上田秋成集、「雅文笑話集」(藤井乙男)所収
148	9-⑰	竹外二十八詩	藤井啓著、江馬聖欽正人校	2巻2冊	29丁	半紙本	22.2×14.9	漢文	文久2版	須原屋茂兵衛、山城屋佑兵衛(江戸)、敦賀屋九兵衛、河内屋茂兵衛、河内屋吉兵衛(大坂)、近江屋佐太郎、勝村伊兵衛、菱屋友七郎[印]、額田正三郎(京都)	森田益(嘉永7序)、賴醇序、廣達(嘉永7跋)	漢詩	
149	5-⑲-(1)	増訂習文錄甲乙版 卷上	皆川愚	1冊(卷下欠)	26丁	半紙本	22.3×15.3	和漢まじり	—	—	—	漢詩文	
150	5-⑲-(2)	習文錄 卷下	(皆川愚)	1冊(卷上欠)	26丁	半紙本	22.1×15.6	和漢まじり	—	岡田屋嘉七(江戸)、河内屋喜兵衛、河内屋茂兵衛、河内屋和助、敦賀屋彦七(大坂)、菱屋孫兵衛(京都)	葛西(安永3序)	漢詩文	
151	5-⑲-(3)	習文錄原文	(皆川愚)	1冊	27丁	半紙本	22.1×15.5	漢文	—	—	—	漢詩文	
152	5-⑲-(4), (5)	続習文錄	(皆川愚)	2巻2冊	29丁	半紙本	22.1×15.6	漢文(上)、 和漢まじり(下)	—	岡田屋嘉七(江戸)、河内屋喜兵衛、河内屋茂兵衛、河内屋和助、敦賀屋彦七(大坂)、菱屋孫兵衛(京都)	—	漢詩文	
153	5-⑲-(6)	習文錄	(皆川愚)	1冊(卷下欠カ)	25丁	半紙本	22.2×15.7	和漢まじり	—	—	—	漢詩文	
154	8-⑩	破涕為笑	大東狂生	1冊	10丁	豆本	11.9×8.5	漢文	慶応3版	賽七愚堂梓	秋谷徹漫(慶応3序)	漢詩文	

## 8. 歴史

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「図書総 目録」に による分類	備考	
126	3-⑥	国史略	岩垣松苗	5巻2冊	136丁	大本	25.7×18.0	漢文	文政9初 版、安政 4再版	須原屋伊八、菱屋孫兵衛【印】 (江戸)	清原宣光(文政10序)、藤 原公修(文政9序)	通史	皇都 五車樓梓	
127	5-①	大勢三転考	伊達千広	3巻3冊	33丁	半紙本	22.7×15.5	和漢まじり	—	松村九兵衛(大坂)、東生龟次 郎(東京)	福羽美静(明治6序)	通史	・六石小房藏板 ・『伊達自得翁全集』、『日本經濟大典』48、 『日本哲学全書』10所収	
128	8-⑥	泰平年表	忍屋隱士輯	1冊	123丁	小本	17.2×12.0	和漢まじり	—	—	—	通史		
129	5-20	行在惑問	大野牧園	3巻1冊	24丁	半紙本	22.5×15.8	漢文	文政12版	植村藤右衛門(京都)、和泉屋 庄治郎(江戸)、吉文字屋市兵 衛(大坂)	柳河牧園猪(文政11序)	—(歴史)		
130	4-①	古学先生鍋銘行状	北村可昌、伊藤東 涯(長胤)	1冊	31丁	大本	27.5×18.4	漢文	宝永4版	書房文会堂藏板	林義端九成(宝永4序)	伝記		
131	4-④	名家略伝	山崎美成編著、千 賀春城訂、菊地容 齋画	4巻1冊	126丁	大本	25.5×17.8	和漢まじり	—	赤志忠七(忠雅堂)(カ)	山崎美成(天保12序)、原 徳齊跋	伝記	出版広告あり ・『日本芸林叢書』8所収	
132	6-①	石田先生事蹟	(手島堵庵等門人)	1冊	47丁	半紙本	25.1×17.6	和漢まじり	—	須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、 岡田屋嘉七、水楽屋東四郎(江 戸)、河内屋喜兵衛、河内屋茂 兵衛、秋田屋太右衛門、敦賀屋 九兵衛(大坂)、伏見屋祐七、 平野屋茂兵衛、吉野屋仁兵衛、 吉野屋甚助(京都)	門入手島堵庵男正揚(文化 2序)	伝記	・五車樓、松樹軒、友松堂、玉照堂、全粹 ・『心学叢書』6、『心学道話全集』5、『日 本教育文庫』心学篇、『日本道話全集』所 収	
133	8-⑦	諸家人物誌	南山道人纂述	2巻1冊	101丁	小本	15.7×10.8	和漢まじり	寛政12再 版	西村源六(江戸)、柏原屋嘉兵 衛(大坂)	吐川辺(寛政11序)	伝記	・卷末に出版目録 ・『日本哲学思想全書』20所収	
134	11-⑥	名節錄	岡田喬	3巻3冊	40丁	大本	25.2×17.7	漢文	慶応2版	須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、 岡田屋嘉七(江戸)、菱屋孫兵 衛(京都)、象牙屋治郎兵衛、 敦賀屋彦七、河内屋茂兵衛、秋 田屋太右衛門、河内屋吉造、河 内屋喜兵衛、河内屋吉兵衛(大 坂)	岡田喬(嘉永3序)	伝記		
135	1-⑭	奇文欣賞	崇士廣氏	2巻1冊 (巻3、4)	32丁	中本	18.2×12.4	漢文	—	銭屋戸四郎(京都)	—	—(伝記)		
136	10-⑦	帝王譜略国朝紀	伊藤長胤輯	1冊	56丁	中本	17.7×12.4	漢文	—	—	板倉勝明子赫序	—(伝記)		
137	4-③	済急記聞	旦暮庵野坂輯	1冊	37丁	大本	26.0×17.9	和漢まじり	—		蕭遠堂主人(天保7序)、 仏虫一具老衲(天保7跋)	農業・伝 記	集所 江戸中橋北植町御油屋一具庵 「追刻済急記聞 統篇」の出版広告あり ・『近世地方経済史料』2所収	
138	5-⑪	正保野史	矢野玄道[文久2]	1冊	11丁	半紙本	23.6×16.0	漢文	—	—	角田忠行(文久2序)、川 喜多真彦(文久3跋)	雑史		
139	10-⑧	南木誌	中山利質	5巻1冊	193丁	中本	19.0×14.0	漢文	—	—	板倉勝明(弘化5序)、斎 藤正謙(嘉永2序)、中山 利質(弘化4、嘉永2序)	家伝	『修養文庫』賢哲伝所収	

(7. 思想・学問・教育のつづき)

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	『図書総 目録』に よる分類	備考
110	1-④	みかけあふき	三輪信善	1冊	19丁	半紙本	23.0×15.3	和漢まじり	安政4初版、昭和8再版	—	吉田尚徳(安政4跋)、菊池謙二郎(昭和8跋)	教訓	
111	2-②	分限心的的	—	1冊	35丁	小本	17.7×11.5	和漢まじり	—	須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、小林新兵衛、須原屋佐助、岡田屋嘉七、和泉屋吉兵衛、梶屋伊兵衛、鈴木喜右衛門、須原屋伊八、出雲寺万次郎、和泉屋金右衛門、山口屋藤兵衛版(江戸)	好華堂(天保14、天保15序)	教訓	
112	2-③	久世条教	(早川正紀)	1冊	24丁	半紙本	22.6×15.7	和漢まじり	寛政11版	浅野弥兵衛(大坂)	小寺清光(寛政11序)	教訓	・作州久世典学館蔵 ・「吉備文庫」5所収
113	3-⑦	告史篇	(徳川齐昭)	1冊	27丁	大本	25.8×17.9	和漢まじり	文久3再版	須原屋伊八(江戸)	—	教訓	【修養文庫】儒仏訓下、「少年士道の訓」、「先哲著作国民道徳」1、「日本教育文庫」訓誠篇上、「日本国粹全書」20、「武士道全書」7、「武士道叢書」中、「水戸学全集」4、「水戸学大系」5所収
114	4-⑤	三省錄後編	原義胤(徳齊)編	5巻5冊	35丁	大本	25.7×17.8	和漢まじり	文久2免許	頬人英屋文藏(巻5の巻尾の記述より)	原徳齊(安政3序、文久3序)	教訓	・潤身堂蔵板 ・「日本経済大典」36、「日本隨筆大成」2期8所収
115	5-⑨	御代の恩	賀陽山櫻光(天明7)	1冊	23丁	半紙本	21.6×15.1	和漢まじり	—	—	中井醉亭(天明7序)	教訓	
116	5-⑩	御代の腹鼓	(太田垣猪川)	1冊	13丁	半紙本	22.5×15.6	和漢まじり	—	堺屋仁兵衛、堺屋儀兵衛((カ);出版広告より)	—	教訓	
117	6-⑤	世子誥文	(大江広封)	1冊	18丁	半紙本	25.2×17.3	和漢まじり	—	—	大江広封(慶応元序)	教訓	【日本教育文庫】家訓篇所収
118	8-④	千代田問答	—	1冊	26丁	中本	17.7×12.4	和漢まじり	慶応4版	—	—	教訓	
119	9-⑧	民家分量記	常磐貞尚	5巻5冊	23丁	半紙本	22.7×16.2	和漢まじり	享保11初版、安永6再版	西村市郎右衛門(京都)、西村源六蔵版(江戸)	錦江島信序、曾原山人藤景胤(享保11跋)	教訓	【国民思想叢書】民衆篇、「通俗經濟文庫」8、「日本教育文庫」訓誠篇下、「日本精神文献叢書」16所収
120	9-⑫	民家生要記	文莉山人(源卯) 撰述	3巻1冊	39丁	半紙本	22.7×15.7	和漢まじり	—	小林新兵衛(江戸;出版目録より)	豈山房高英(寛政4序)	教訓	江都書肆豈山房蔵版 巻末に出版目録 ・「日本経済叢書」6、「日本経済大典」9所収
121	9-⑯	民間諭草	竹里翁(加藤景範)遺稿	1冊	38丁	半紙本	22.7×16.1	和漢まじり	享和元版	柏原屋清右衛門、小川屋清右衛門(大坂)	中井積善(寛政12序)	教訓	
122	9-⑯	和語陰陽錄	袁了凡著	1冊	95丁	半紙本	22.4×15.9	和漢まじり	安永6版	武村嘉兵衛(京都)、浅野弥兵衛、赤松九兵衛、荒木佐兵衛(大坂)	乾重益(安永5序)、津不可可(安永4序)、二三子(安永3跋)	教訓	
123	10-①	明訓一斑辨明錄	(徳川齐昭)	1冊	15丁	半紙本	22.1×15.8	和漢まじり	—	—	—	教訓	【維新史料】、「日本海防史料」四海防彙譜、「日本教育文庫」家訓篇、「水戸文学叢書」2所収
124	10-④	儲保軌鑑	葉山高行編錄	1冊	60丁	大本	26.0×17.9	漢文	文久元版	—	佐藤梶(文久元序)、葉山高行(安政2序)、一齋老人(安政2跋)	教訓	平戸楽歳堂蔵版
125	9-㉚	大隊教練	(高島秋帆著)、大島恭次郎訳、本間寿助著、田邊良輔校	1冊(巻上のみ)	80丁	横小本	11.4×16.2	和漢まじり	慶応元版	—	—	軍事	

## (7. 思想・学問・教育のつづき)

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「図書総 目録」に による分類	備考
98	6-13	淡雅雑著	(大橋知義(菊池 淡雅))	3巻1冊	101丁	半紙本	23.5×16.9	和漢まじり	安政6初 版、昭和 15再版	大瀧徳蔵(山形県鶴岡市十日 町)	大橋正順、菊地教中(安政 6序跋)	隨筆	・蘿真堂藏 ・『日本經濟叢書』34(抄)、『日本經濟大 典』52(抄)所取
99	7-③	梅窓筆記	梅宮祠官香菴橘	2巻2冊	31丁	大本	26.1×18.1	和漢まじり	文化3版	姿々岐蛇四郎、林伊兵衛、能勢 義兵衛、吉田四郎右衛門(京都)	丘思純(文化2序)	隨筆	『日本隨筆全集』17、『日本隨筆大成』3期 3、『百家説林』続編下2所取
100	5-13	婚姻女図屏	—	1冊	13丁	小本	17.4×11.9	和漢まじり	—	—	—	往来物	
101	7-10	農家用文章	—	1冊	63丁	半紙本	22.1×15.0	和漢まじり	—	和泉屋金右衛門(江戸)(出版 広告より)	—	往来物	見返しに「書林玉巖堂梓」卷末に和泉屋金 右衛門の出版広告あり。 卷末に薦の広告あり
102	8-9	百姓往来絵抄	神歌堂岳山編	1冊	21丁	小本	17.3×11.5	和漢まじり	—	吉田屋文三郎板(江戸)	神歌堂岳山序	往来物	卷末に出版目録
103	11-1	番匠作事往来	岐阜屋清七著、整 軒玄魚校、大賀範 国圖	1冊	22丁	中本	17.7×11.7	和漢まじり	—	河内屋藤四郎(京都)、河内屋茂 兵衛、河内屋藤兵衛(大坂)、山 口屋藤兵衛、椀屋喜兵衛(江戸)	—	往来物	卷末に出版目録
104	1-16	害事論	石井光致	1冊	64丁	中本	18.2×12.5	和漢まじり	文政11版	須原屋茂兵衛(江戸)、東都書 林 千錦房 初児	橋守部、中浣達齋、石井光 致(文政10序)	教育	
105	1-18	雅俗涅槃辨	源清風	3巻3冊	29丁	半紙本	22.2×15.3	和漢まじり	文久3再 版	秋田屋太右衛門、河内屋茂兵衛、 河内屋利助(大坂)、灰屋輔二、 灰屋長兵衛(姫路)、製本所 京口書林 灰屋庄八	斎藤謙、益城松明序、上原 毫克、近藤迂跋	教育	
106	4-②	国恩教諭実能留 樹	磯間良甫著、森常 山画	1冊	35丁	大本	26.0×18.4	和漢まじり	—	須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、 小林新兵衛、岡田屋嘉七、英大 助、出雲寺万治郎、和泉屋金右 工門、須原屋伊八、山崎屋清七、 和泉屋市兵衛、森屋治兵衛、山 口屋藤兵衛、山本平吉、萬屋吉 蔵(江戸)、河内屋茂兵衛、河 内屋藤兵衛(大坂)、日光屋文 治郎(武州)、高美屋甚左衛門 (信陽)、亮弘 日本橋元大工町 山城屋平助	赤川徳厚(嘉永2序)	教育	武府 通機堂藏板
107	9-5	国恩教諭実能留 樹	磯間良甫著、森常 山画	1冊	34丁	大本	26.2×18.2	和漢まじり	嘉永2版	須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、 小林新兵衛、岡田屋嘉七、英大 助、出雲寺万治郎、和泉屋金右 工門、須原屋伊八、山崎屋清七、 和泉屋市兵衛、森屋治兵衛、山 口屋藤兵衛、山本平吉、萬屋吉 蔵(江戸)、河内屋茂兵衛、河 内屋藤兵衛(大坂)、日光屋文 治郎(武州)、高美屋甚左衛門 (信陽)、亮弘 日本橋元大工町 山城屋平助	赤川徳厚(嘉永2序)	教育	武府 通機堂藏板
108	6-②	退食問話	会沢安	1冊	33丁	大本	25.5×17.6	和漢まじり	—	—	会沢安(天保13序)	教育	『大日本風教叢書』11、12、「標註代表国豪 編」上、「武士道叢書」下、「水戸文学叢書」 3所取
109	8-16	自修編	小町雄八	3巻1冊	94丁	半紙本	22.6×16.1	和漢まじり	文政12版	東都書林奎文閣 河内屋太郎兵 衛(江戸)	酒井履信(文政11跋)	教育	『日本經濟叢書』19、『日本經濟大典』29所 取

(7. 思想・学問・教育のつづき)

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「図書総 目録」に による分類	備考
84	9-19	壳卜先生糠俵	虚白齋著	1冊	40丁	半紙本	22.3×15.7	和漢まじり	安永6版	弘所山本長兵衛、海老屋弥兵衛、八文字屋仙治郎、す、屋勘兵衛	虚白齋(安永6序)、(手島)堵庵跋	心学	
85	9-⑨	民の繁栄	(脇坂義堂)	1冊	23丁	半紙本	22.0×15.4	和漢まじり	—	—	虚白齋(寛政7序)	心学	『国民文庫』道話集、『修養文庫』世俗訓、『心学叢書』1、「心学道話全集」4、「日本道話全集」4所収
86	9-11	知心辨疑	(手島堵庵)	1冊	21丁	半紙本	22.7×15.8	和漢まじり	安永2版	弘所山本長兵衛、海老屋弥兵衛(京都)	典信跋	心学	・中井氏藏板 ・『岩波文庫』手島堵庵心学集、『大日本風教叢書』6、「手島堵庵全集」所収
87	9-13	町人身体柱立	(手島堵庵)	1冊	26丁	半紙本	22.3×15.6	和漢まじり	明和5初版、寛政4再版	錢屋莊兵衛(京都)	(手島)堵庵(明和5附録)	心学	・上巻に「周防由房」の署名あり。 ・『心学叢書』5、「心学道話全集」4、「通俗経済文庫」1、「手島堵庵全集」、「日本道話全集」所収
88	9-20	前訓	(手島堵庵)	1冊	24丁	小本	17.2×11.6	和漢まじり	—	書屋敬文舎梓	—	心学	『岩波文庫』手島堵庵心学集、『心学叢書』6、「心学道話全集」4、「大日本風教叢書」6、「手島堵庵全集」、「日本教育文庫」心学篇、「日本道話全集」4所収
89	10-12	前訓	(手島堵庵)	2巻1冊	33丁	半紙本	22.9×16.1	和漢まじり	安永2版	山本長兵衛、小川新兵衛、海老屋弥兵衛(京都)	—	心学	中鶴勘兵衛藏板
90	11-③-1	三教一致忠孝手引草	吉田広道識	1冊	23丁	半紙本	22.8×15.6	和漢まじり	文政13版	—	曾根守愚(文政13跋)	心学	22ウが相違
91	11-③-2	三教一致忠孝手引草	吉田広道識	1冊	23丁	半紙本	22.9×15.4	和漢まじり	文政13版	—	曾根守愚(文政13跋)	心学	
92	3-⑨	心学施本集	手島堵庵(カ)	1冊	58丁	半紙本	23.2×16.2	和漢まじり	—	—	—	- (心学)	「古今一粒天命本心圓」「臼杵一組」の広告、出版広告あり
93	9-21	量地円起方成	剣持章行著、原半五郎尚芳、中曾根真吾宗那、岩井市重郎豊勝、青溪偽校訂	2巻2冊	24丁	中本	18.7×13.0	和漢まじり	嘉永6版	平野屋平助(江戸)	剣持章行成紀(嘉永6序)	測量	任数堂藏版
94	5-22	新撰旱割江戸相場二一天作	最上流格斎	1冊	85丁	中本	18.1×12.0	和漢まじり	嘉永3再版	岡田屋嘉七、和泉屋市兵衛、小林新兵衛、山城屋佐兵衛、須原屋茂兵衛、須原屋伊八、和泉屋金右衛門、英大助板、英文藏(江戸)	—	和算	
95	2-①	近世叢語	角田九華(角田簡)	16巻8冊	52丁	大本	25.5×17.8	漢文	文政11版	和泉屋庄次郎(江戸)、伏見屋藤右衛門(京都)、加賀屋善藏(大坂)	賴襄子成(文政11序)、角田(九華)(文化13序)、西島長孫(弘化2跋)	隨筆	・『日本画論大觀』中所収
96	3-④	悟窓漫筆	大田元貞著、荒井縣行校	2巻2冊	62丁	大本	25.7×17.4	和漢まじり		発兌書肆 玉巒堂	唐公申(文政6序)、出井元凱(文政5序)、加藤善庵(文政6跋)	隨筆	晴湖氏藏版 ・『続国民文庫』隨筆集、『日本隨筆全集』17、「有朋堂文庫」名家隨筆集上所収
97	3-⑤	悟窓漫筆 後編	大田元貞著、荒井縣行校	2巻2冊	57丁	大本	25.7×17.5	和漢まじり		—	戸谷惟孝、吉田遊佐高幹齊、磯、出井元山(文政7序)、原澤誼文伸(文政7跋)、本多親茂徳郷(文政7跋)	隨筆	荒井晴湖 藏版

## (7. 思想・学問・教育のつづき)

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「図書総 目録」に による分類	備考
69	5-10	大道感問	氣吹舎先生(平田篤胤)著、碧川好尚註訂	1冊	19丁	半紙本	23.7×15.9	和漢まじり	—	—	碧川好尚(安政4序)	国学	卷末に「伊吹酒屋先生及門人著述刻成上書目」あり ・『修養文庫』皇道訓、『大日本文庫』復古神道中、『日本国粹全書』15、『日本思想闡詮史料』9、『日本哲学会書』5、『平田篤胤全集』2(平田学会)、『平田篤胤全集』7(内外書籍)所収
71	1-⑤	かくあるべし	荒井ぬし(荒井清兵衛改修)	1冊	12丁	大本	25.7×17.0	和漢まじり	—	—	清濁跋	心学	
72	6-12	かくあるべし	荒井ぬし(荒井清兵衛改修)	1冊	12丁	大本	26.0×17.0	和漢まじり	—	—	清濁跋	心学	題筆なし
73	5-②	心鄉錄	赤沢太一郎	2巻2冊	28丁	半紙本	22.5×15.8	和漢まじり	—	—	万庵(天保4序)	心学	
74	5-③	心鄉錄二編	赤沢太一郎	2巻2冊	23丁	半紙本	22.5×15.9	和漢まじり	—	—	—	心学	
75	5-⑧	松影思鏡	(清水春斎)〔天保12〕	1冊	16丁	半紙本	22.8×15.7	和漢まじり	—	—	—	心学	『日本教育文庫』訓説篇所収
76	5-12	齊家論	石田勘平(石田梅岩)	2巻1冊	40丁	半紙本	22.4×15.8	和漢まじり	延享元版	小川新兵衛、小川源兵衛(京都)	石田勘平(石田梅岩)(延享元序)	心学	『日本思想叢書』民衆篇、『国民文庫道話集』、 ・『修養文庫』世俗訓、『心学叢書』1、「心学道話全集」5、「日本教育文庫」心学篇、 ・『日本經濟叢書』8、「日本經濟大典」13、 ・『日本精神文献叢書』16、「日本道話全集」5所収
77	5-⑩	新実語教	手島堵庵	1冊	24丁	半紙本	22.5×15.8	漢文	—	山本長兵衛、森江勘兵衛、平井文蔵、服坂庄兵衛、淡海治郎吉(京都)	手島堵庵(天明元跋)	心学	『修養文庫』世俗訓、『日本教育文庫』教科書篇所収
78	6-②	石田先生遺稿	(石田梅岩)	1冊	27丁	大本	26.0×18.5	和漢まじり	文化3版	小川新兵衛、小川源兵衛(京都)	—	心学	
79	8-13	道得問答	兼葭慈音尼	4巻1冊	86丁	半紙本	22.1×15.5	和漢まじり	文政元版	菱屋孫兵衛(京都)	兼葭慈音尼(安永3序)、 兼葭慈音尼跋	心学	卷末に出版目録 ・『国民文庫道話集』、『心学叢書』5、「心学道話全集」5、「大日本風教叢書」6、「日本教育文庫」心学篇、『日本道德叢書』3、「日本道話全集」5所収
80	8-14	道乃衍	(鎌田鵬(柳弘))	3巻3冊	28丁	半紙本	22.2×15.5	和漢まじり	—	弘簡堂須磨勘兵衛梓(京都)	上河宗外(文政元序)	心学	卷末に出版目録 ・『心学叢書』5、「心学道話全集」2、「大日本風教叢書」6、「日本道話全集」2所収
81	8-18	日用心法鈔	(寿福軒真鏡)	2巻2冊	57丁	半紙本	22.7×15.9	和漢まじり	—	和泉屋庄治郎(江戸)	寿福軒真鏡(文政10序)	心学	卷末に出版目録 ・『心学日用心法鈔』所収
82	9-⑦	壳卜先生糠俵	(虚白齋)	1冊	41丁	半紙本	22.3×15.8	和漢まじり	安永6初版、寛政元再版	山本長兵衛、脇坂庄兵衛、淡海次郎吉(京都)	虚白齋(安永6序)、(手島)堵庵跋	心学	『修養文庫』世俗訓、『心学叢書』1、「心学道話全集」1、「日本教育文庫」心学篇、 ・『日本道話全集』1、「心学先哲道話」(山中勘次郎、明治26)所収
83	9-14	壳卜先生糠俵後篇		2巻2冊	27丁	半紙本	22.6×15.7	和漢まじり	安永7初版、寛政7再版	須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、小林新兵衛、須原屋佐助、須原屋伊八、和泉屋吉兵衛、岡田屋嘉七(江戸)、秋田屋太右衛門、河内屋喜兵衛(大坂)、勝村治右衛門板、同伊兵衛(京都)	虚白齋序、(手島)堵庵跋	心学	

(7. 思想・学問・教育のつづき)

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	『図書総 目録』に による分類	備考
53	1 - ⑧	滑川談	塙田多門	1 冊	49丁	大本	26.0×18.1	和漢まじり	—	須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、岡田屋嘉七(江戸)、河内屋喜兵衛、河内屋和助(大坂)、風月屋庄左衛門、俵屋清兵衛(京都)、永楽屋東四郎(名古屋)	塙田多門序・跋	漢学	「東都藏風館」蔵板 ・「修養文庫」儒仏訓下、「日本經濟叢書」19、「日本經濟大典」29所収
54	1 - ⑪	私門示言	若林懋	1 冊	46丁	大本	26.3×18.1	漢文	文政11版	東都書林慶元堂	谷輪有斐	漢学	
55	5 - ⑥	親族正名	太宰弥右衛門(太宰春台)	1 冊	62丁	半紙本	22.8×15.7	和漢まじり	享保10版	須原屋吉郎兵衛(江戸)	山縣孝孺少助(享保10序)、太宰純(享保10序)	漢学	
56	6 - ④	聖学自在	新井白鷹(祐登)	2巻2冊	39丁	大本	25.9×17.9	和漢まじり	安永6版	武村嘉兵衛(京都)	新井祐登(白鷹)(安永(6力)序)	漢学	「白鷹全書」2所収
57	6 - ⑥	仁義略説	朝川鼎(善庵)	1 冊	17丁	大本	26.0×17.8	和漢まじり	文政元版	植村藤右衛門(京都)、秋田屋太右衛門(大坂)、須原屋源助(江戸)	岡田式(文化14跋)	漢学	・学古塾蔵 ・「日本文庫」3所収
58	6 - ⑭	大学原解	大田元貞(錦城)	3巻3冊	51丁	大本	25.7×17.9	漢文	—	勝田治右衛門(京都)、河内屋喜兵衛、秋田屋太右衛門、河内屋茂兵衛、伊丹屋善兵衛(大坂)、永楽屋東四郎(名古屋)、須原屋茂兵衛、須原屋伊八、山城屋佐兵衛、岡田屋嘉七、和泉屋金右衛門(江戸)	伊藤祐義忠信、渡邊忠順、大田元貞才佐(文政4序)	漢学	玉巌堂発児、卷末に「玉巌堂製本書目 江戸横山町三丁目 和泉屋金右衛門」があり ・「日本名家四書註釈全書」学庸部2所収
59	7 - ⑦	山陽藤城二家対策	村瀬頼君校	3巻1冊	34丁	半紙本	22.5×15.5	漢文	—	万屋東平(名古屋)他41肆	後藤機(嘉永5序)	-(漢学)	
60	8 - ⑦	復性辨	伊藤長胤	3巻1冊	12丁	大本	26.9×17.5	漢文	享保15版	戸藏屋七郎兵衛藏版(江戸)	東海平維章(享保14跋)	漢学	江都書林 西華堂蔵版 ・「日本倫理叢編」5所収
61	9 - ②	滄溟先生尺牘	敬長興輯	3巻1冊	63丁	大本	27.1×17.8	漢文	宝曆元新刻	小林新兵衛梓行(江戸)	眼元喬(享保14序)、田良陽(享保15跋)	漢学	
62	9 - ③	豈好辨	会沢正志齋(会沢安)	1 冊	28丁	大本	25.8×17.9	漢文	—	玉巌堂(柱・著述目録より)	藍臯居士(戊子年跋)	-(漢学)	卷末に「常陸正志齋會澤先生著述目録」あり ・「日本儒林叢書」4所収
63	10 - ⑥	毛詩正文	山子(兼山先生) 調点、若山田調、笠間松伸胤校	3巻3冊	65丁	大本	26.0×17.9	漢文	—	嵩山房小林新兵衛梓行	鳥居忠見(天明4序)、田煥章跋	-(漢学)	集思堂蔵刻
64	1 - ②	隔離論	塙谷世弘(岩陰)	1 冊	30丁	半紙本	25.5×16.5	漢文	安政6版	快風堂	川島蘭洲序	儒学	・「日本儒林叢書」4所収
65	1 - ⑩	疑問錄	太田錦城	2巻2冊	40丁	大本	25.7×17.9	和漢まじり	天保2版	和泉屋金右衛門(江戸)	男敦、宗海皆川盛真子、唐公中鴻佐甫(文政13序)	儒学	・東都聽松軒藏梓 ・「日本倫理叢編」9所収
70	1 - ⑫	堪忍袋	藤原春郷	1 冊	14丁	半紙本	23.1×15.9	和漢まじり	—	—	—	-(儒学)	
66	1 - ①	国学辨翼	立綱先生	1 冊	16丁	半紙本	22.6×15.5	和漢まじり	文化11刻成、文政2版	須原屋善五郎、松屋要助、伊勢屋忠右衛門(江戸)	大斎庵立綱跋	国学	・「粒甲丹」「紅毛聖薬玉露飲」の広告(完弘寺伊勢屋忠右衛門) ・11丁目欠損
67	3 - ② - (1)	経義大意	(八田知紀)	1 冊	22丁	大本	26.5×18.4	和漢まじり	—	—	菅原為榮(元治元序)	国学	・「国民道德叢書」3、「日本国粹全書」15所収
68	3 - ② - (2)	経義大意	(八田知紀)	1 冊	22丁	大本	25.6×18.2	和漢まじり	—	—	菅原為榮(元治元序)	国学	・「国民道德叢書」3、「日本国粹全書」15所収

## (6. 宗教のつづき)

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「国書総 目録」に による分類	備考
39	1-②	美田間の種	(玉田永教)	1冊	31丁	大本	25.4×17.6	和漢まじり	—	—	一箕齋峰貞亮(寛政9序)	神道	
40	5-(7)	神道野中の清水	八重垣翁	1冊	44丁	半紙本	22.3×15.7	和漢まじり	—	書林柳枝軒	八重垣翁(享保17序)	神道	『大日本文庫』垂加神道下所収
41	6-⑯	大道微言	乾長孝	1冊	37丁	半紙本	24.9×17.0	漢文	—	—	岡田勝興(寛政4序)、乾長孝(寛政3序)、稻村箭、上村徳長(寛政4跋)、近藤漸、伊藤祐胤(寛政5跋)、文学佐■元略跋	神道	
42	7-⑧	桃園雜記	(八田知紀)	1冊	46丁	大本	26.7×19.2	和漢まじり	弘化3版	須原屋茂兵衛(江戸)、永楽屋東四郎(名古屋)、篠田伊十郎(津)、河内屋喜兵衛、河内屋和助(大坂)、田川武右衛門【印】(京都)	源朝臣松苗(弘化2序)	隨筆・神道	桃園藏板 ・『勵王文庫』1、『日本隨筆大成』3期6所収
43	9-④	辨辯道書	鳥羽義〔元文元〕	1冊	21丁	大本	27.0×17.6	和漢まじり	—	川村源左衛門(江戸)	—	神道	卷末に出版予告あり
44	6-⑩	草假和言	会沢安	1冊	72丁	大本	25.6×17.8		嘉永5版	—	杉山忠亮(天保14序)、正志齋窓(天保15序)、会沢安(天保14跋)、斎藤一徳(嘉永5跋)	有職故実	・常陸静神社長官藏板 ・『日本教育文庫』宗教篇、『日本国粹全書』18所収 ・年中祭祀の神々の由来を記述
45	1-⑯	閑愁錄	(長岡謙吉)	1冊	7丁	半紙本	24.9×17.1	和漢まじり	慶応3版	—	春日頤	キリスト教	・土佐海援隊藏板 ・『日本思想開諳史料』10、『破邪叢書』1所収
46	6-③	斥邪漫筆	深概隱士著、豪岡野叟校	1冊	37丁	大本	25.6×18.0	和漢まじり	—	衛道書屋蔵、不許売買	豪岡野叟(慶応元序)、先豪子序、深概隱士(元治元(カ)序)	キリスト教	『破邪叢書』1、『明治文化全集』思想篇所収
47	7-⑨	朝日迺免久美	—	1冊	15丁	大本	26.0×18.2	和漢まじり	文化12版	—	—	浄土	峰泉堂藏書
48	10-②	放生歎喜草	沙門純弥述	1冊	39丁	半紙本	22.2×15.5	和漢まじり	—	—	円達絆拂(文化12序)	仏教	『大日本風教叢書』9、10所収

## 7. 思想・学問・教育

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「国書総 目録」に による分類	備考
49	1-⑥	いろはわけ教民妙 業集	—	1冊	4丁	小本	17.1×12.0	和文	—	須原屋茂兵衛(江戸)	—	医学	
50	1-⑯	儒医精要	慈谿趙繼宗敬齋	1冊	46丁	大本	25.3×18.2	漢文	慶安元版	—	慈谿趙繼宗序	医学	
51	6-⑪	叢桂偶記	原昌克(南陽)	1冊	38丁	半紙本	25.2×16.9	漢文	—	叢桂亭藏	藤田一正(寛政12序)	医学	・叢桂亭藏 ・『皇漢医学叢書』13所収
52	10-⑩	張氏醫通	石頃張醫纂述	7冊(全16巻のうち巻5,6,7,8,9,10が欠)	56丁	中本	20.0×13.3	漢文	—	—	秀水朱■尊(康熙48序)、胡周■(康熙乙未序)、姪大受百(康熙38序)、汝瑚(康熙癸酉序)、石頃張踏(康熙乙亥序)	—(医学)	光緒丁未春月 上海書局石印

## 5. 農業

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「国書総 目録」に よる分類	備考
23	3-⑧	算法地方大成	秋田義一編	3冊(5巻5冊のうち巻2・3欠)	33丁	大本	25.1×17.6	和漢まじり	天保8版	北嶋順四郎、岡田屋嘉七、英大助、小林新兵衛、山城屋佐兵衛、須原屋茂兵衛、須原屋佐助、須原屋伊八、西宮弥兵衛(江戸)	荒川忠左衛門序	和算・経 済	・農政関係(年貢・治水など)
24	5-⑤-(1)	十字号糞培例	(佐藤玄庵著)、佐藤信淵筆記、織田完之訂正	1冊	45丁	半紙本	22.7×15.5	和漢まじり	—	—	佐藤信淵(文政7序)、鷹 濟逸人(明治8カ版)	農業	『佐藤信淵家学全集』上、「培養秘録」付録 所収
25	5-⑤-(2)	十字号糞培例	(佐藤玄庵著)、佐藤信淵筆記、織田完之訂正	1冊	48丁	半紙本	22.7×15.4	和漢まじり	—	「佐藤信淵翁著書諸国弘通書肆」須原屋茂兵衛ほか	佐藤信淵(文政7序)、鷹 濟逸人(明治8カ版)	農業	『佐藤信淵家学全集』上、「培養秘録」付録 所収
26	5-⑯	五穀人農紀	島津大定	1冊	6丁	中本	18.6×13.1	和漢まじり	嘉永6版	玉光堂善助(江戸)	—	—	気象・農 業
27	7-①	農業効行辯	中川真業	1冊	49丁	半紙本	22.5×16.0	和漢まじり	—	—	高井伴寛思明、中川真業(寛 政7序)、湯浅道究(寛政 8版)	農業	『日本農民史料聚粹』11所収
28	7-②	農業餘話抄	小西篤好	1冊	42丁	半紙本	23.2×16.2	和漢まじり	—	—	此君園主人(文政11序)	農業	
29	7-④	農喻	鈴木武助正長	1冊	24丁	大本	26.2×17.8	和漢まじり	—	—	鈴木之徳澤民(文化8序)、 秋山盛恭(文政8版)	農業	卷尾に「時文化二年乙丑八月廿四日誌」 ・「日本經濟叢書」17、「日本經濟大典」26 所収
30	7-⑤	農家調宝記	高井伴寛編	1冊	45丁	半紙本	22.4×15.3	和漢まじり	文化14版	和泉屋金右衛門(江戸)	高井伴寛(文化13序)	農業	見返しと卷尾に和泉屋金右衛門の出版目録
31	7-⑪	農稼業事	児島如水	1冊(上巻のみ)	35丁	半紙本	22.7×16.0	和漢まじり	—	—	児島如水(寛政5序)、孫 徳重跋	農業	・湖東耕雲舍藏板 ・「日本農民史料聚粹」6所収
32	7-⑫	農業全書	宮崎安貞編録、貝原萊軒刪補	1冊(巻1のみ、巻2～10欠)	82丁	半紙本	22.4×15.7	和漢まじり	天明再版	—	佐一宗淳序、宮崎安貞、貝 原好古(元禄9序)	農業	『岩波文庫』、「益軒全集」8、「日本産業資 料大系」2所収
33	8-⑯	饑年要錄	(福澤憲治)	1冊	26丁	半紙本	24.1×16.1	和漢まじり	—	—	松藏序、福澤憲治(天保5 序)、天保7跋、明治7跋	農業	
34	10-⑪	綿闇要務	大蔵永常	2巻2冊	32丁	半紙本	22.6×15.6	和漢まじり	天保4版	河内屋長兵衛(大阪)、須原屋 茂兵衛、小林新兵衛、丁子屋平 兵衛(江戸)	齋石田篤(天保4序)	農業	『日本科学古典全書』11所収
35	11-②	再種方二度稲之記	大蔵永常編	1冊	13丁	半紙本	22.1×15.3	和漢まじり	文政7版	河内屋長兵衛(出版目録よ り)	早野正己(文政7序)	農業	三徳堂蔵; 卷末に河内屋重太郎の薦の広告 ・「勤農叢書」所収
36	11-④	穂に穂	川合忠藏	1冊	65丁	半紙本	22.5×15.8	和漢まじり	天明6版	小川多左衛門、林宗兵衛(京都)	川合忠藏跋	農業	『勤農叢書』所収

## 6. 宗教

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「国書総 目録」に よる分類	備考
37	2-④	鬼神新論	平篤胤(平田篤胤)	1冊	69丁	大本	26.6×18.5	漢文、和漢 まじり	—	—	鈴木朗(文化3序)、藤井高 尚(文化3序)、中村一匡 (文化2序)、龜山嘉治跋	神祇	・「新註皇學叢書」10、「平田篤胤全集」3 (平田学会)、「平田篤胤全集」8(内外書 籍)所収
38	8-⑯	御蔭參宮文政神異 記	(箕曲在六編)	2巻2冊	25丁	半紙本	22.3×15.5	和漢まじり	天保3版	藤原屋甚右衛門(神都)、菊屋 喜兵衛(京都)	春木煥光(文政13版)	神祇	卷末に出版目録 ・「大神宮叢書」神宮參拝記大成所収

## 3. 経済

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「国書総目録」に よる分類	備考
9	1-10	家業相続力草	土屋巨楨	1冊	21丁	半紙本	22.4×15.3	和漢まじり	—	勝村治右衛門(京都)、河内屋喜兵衛(大坂)、須原屋茂兵衛、須原屋伊八、須原屋新兵衛、山城屋佐兵衛、岡田屋嘉七、英大助、和泉屋庄治郎、和泉屋金右衛門(江戸)	土屋巨楨(寛政6跋)	経済	・『通俗経済文庫』3所収
10	1-13	古今八木相場帳	(村田源兵衛)	1冊	83丁	横小本	11.0×15.8	和漢まじり	宝暦13版	柏原屋五兵衛、柏原屋忠助(大坂)	宝暦12序	商業	
11	1-17	縦書き必用八木虎之巻	(猛虎軒主人)	1冊	32丁	横小本	10.9×15.6	和漢まじり	天明7版	塙屋長兵衛(大坂)	竹林子(宝暦6序)、猛虎軒跋	経済	・『徳川時代商業叢書』2所収
12	1-23-(1)	増補懐宝永代藏	—	1冊	46丁	半紙三つ切	7.1×15.7	和漢まじり	寛政6再版	大塚屋宗兵衛、敦賀屋九兵衛(大坂)	田中友水子(寛延元序)	経済	
13	1-23-(2)	増補懐宝永代藏	—	1冊	38丁	半紙三つ切	7.2×16.3	和漢まじり	宝暦11再版	大塚屋惣兵衛、敦賀屋九兵衛(大坂)	田中友水子(寛延元序)	経済	
14	1-23-(3)	増補懐宝永代藏	—	1冊	47丁	半紙三つ切	6.8×15.8	和漢まじり	天保12再版	敦賀屋九兵衛、綿屋太助(大坂)	田中友水子(寛延元序)	経済	
15	3-①	五穀無尽藏	上原無休	2巻2冊	42丁	半紙本	22.3×15.6	和漢まじり	寛政4版	須原屋茂兵衛(江戸)、塙屋喜助(大坂)、八文字屋仙治郎、近江屋莊兵衛(京都)	(手島)堵庵先生(寛政4序)、有山統(寛政元序)、無通斎(寛政4跋)	経済	・『通俗経済文庫』6所収
16	8-①	[米相場帳]	大坂相場 南部吉左衛門	214枚	214枚	一枚摺	12.1×13.0	和漢まじり	—	—	—	-(経済)	
17	8-②	金價日月燈	—	1冊	66丁	横小本	11.0×16.0	和漢まじり	明和8版	緒田平右衛門藏板(和歌山)、西田屋理兵衛(大坂)	浮千山(明和8序)	-(経済)	
18	8-③	増補諸色相庭高下傳	玉江漁隱編	1冊	74丁	小本	15.1×10.9	和漢まじり	享和元版	藤屋弥兵衛、小刀屋六兵衛、塙屋長兵衛、河内屋太助(大坂)	玉江漁隱(寛政13版)	-(経済)	
19	9-15	売買出世車両式	(赤松闇鬼望)	1冊	11丁	半紙本	22.9×16.0	和漢まじり	—	—	赤松闇鬼望(宝暦8序)	経済	【通俗経済文庫】1所収

## 4. 商業

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	「国書総目録」に よる分類	備考
20	8-02-(1)	商家秘録	(大玄子)	1冊	87丁	小本	15.8×10.9	和漢まじり	明和7版	山崎金兵衛(江戸)、藤屋弥兵衛、柏原屋佐兵衛(大坂)	大玄子序	商業	卷末に「売買秘書出来目録」あり ・『通俗経済文庫』8所収
21	8-02-(2)	商家秘録	(大玄子)	1冊	88丁	小本	15.6×10.9	和漢まじり	明和7版	高木遷喬堂、敦賀屋九兵衛(大坂)	大玄子序	商業	卷末に「売買秘書出来目録」あり ・『通俗経済文庫』8所収
22	10-13	東講商人鑑	大城屋良助(甲良山)発起	1冊	77丁	〔横半紙本〕	15.2×22.0	和漢まじり	—	—	甲良山(安政2序)、大城屋良助序跋	商業	

## ②刊本

### 1. 政治

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	『図書総 目録』に による分類	備考
1	1 - ③	治平小鑑	中林成昌	1 冊	53丁	大本	25.5×18.0	漢文	—	望嶽園力（出版広告より）	中林成昌（天保3跋）	政治	・「竹洞山人詩歌集」「竹洞山人遺稿」「竹洞山人人物譜」の出版広告あり
2	3 - ③	今書	蒲生秀実（蒲生君平）著、筒井明俊校	2巻2冊	28丁	大本	25.7×18.0	漢文	—	出雲寺文治郎、勝村治右衛門（京都）、秋田屋太右衛門、河内屋茂兵衛（大坂）、須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、和泉屋吉兵衛、播磨屋勝五郎（江戸）	原田業廣（安政5序）	政治	・「蒲生君平全集」、「増補校訂蒲生君平全集」、「勁王文庫」1、「国民道德叢書」2、「大日本文庫」水戸学派其他、「日本経済叢書」17、「日本経済大典」26、「日本国粹全書」20所収
3	6 - ⑨	宋李吁江先生文抄	杉原（心齋）先生校閲	3巻3冊	22丁	大本	25.8×17.9	漢文	慶応2版	勝村治右衛門（京都）、伊丹屋善兵衛（大坂）、須原屋茂兵衛、山城屋佐兵衛、小林新兵衛、岡田屋嘉七、須原屋伊八、和泉屋金右衛門、鈴木喜右衛門板（江戸）	杉原直義（慶応元序）	—(政治)	
4	8 - ⑤	不恤緯	蒲生秀実（蒲生君平）著	1 冊	37丁	中本	18.2×12.6	漢文	—	—	蒲生秀実（文化4序）、松沼亨（安政5跋）	政治	「国民道德叢書」2、「増補校訂蒲生君平全集」、「日本国粹全書」20所収
5	9 - ①	嚙鳴館遺草	(細井平洲(徳民)著)、(細井)徳昌編	6巻6冊	30丁	大本	25.5×17.6	和漢まじり	(天保6版)	須原屋伊八（江戸）	林衛（天保6序）、(細井)徳昌（天保6跋）	政治・財政・教訓	・「天保乙未新刊 嚙鳴館遺草 本館藏板」 ・卷1「野芹」につき、写本「野芹」(7-10)あり。 ・「日本経済叢書」15、「日本経済大典」22、「日本倫理叢編」9、「平洲全集」所収
6	10 - ⑫	牧民忠告解	種口好古撰、杉浦邦古校	2巻1冊	92丁	半紙本	22.7×15.7	和漢まじり	—	永楽屋東四郎（名古屋）	種口好古（天明5序）、大家長幹（天明6序）、金克一（万曆戊寅版）、杉浦邦古（天明6跋）	政治	巻末に出版目録 ・「日本経済大典」21所収

### 2. 法制

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	刊記	書肆	序文・跋文	『図書総 目録』に による分類	備考
7	1 - ⑦	官職通解	千葉玄之	1 冊	32丁	半紙本	22.0×15.5	和漢まじり	安永4版	英大助、平吉、文蔵または英幸吉（江戸）（出版広告より）	金嶋井純（安永3序）、千葉玄之序、松窓閑修序、飯室昌符（安永4跋）	法制	出版広告あり
8	5 - ④	三律摭要	羽倉用九	2巻1冊	54丁	半紙本	22.4×15.3	漢文	弘化4版	出雲寺文次郎、村上勘兵衛（京都）、河内屋喜兵衛、伊丹屋善兵衛（大坂）、須原屋茂兵衛、須原屋伊八、山城屋佐兵衛、須原屋新兵衛、和泉屋吉兵衛、岡田屋嘉七、和泉屋勘右衛門、和泉屋金右衛門版（東京）	蓬翁用九（羽倉用九）（弘化3序）	法制	

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	書写年	書写者名	序文・跋文	【国書総 目録】に による分類	備考
45	7-【5】	力作考	佐藤平治誌〔文久元〕	1冊	26丁	半紙本	23.3×16.8	和漢まじり	—	—	—	—(農業)	
46	7-【6】	米穀貴賤町人問答	—	1冊	41丁	大本	26.2×19.5	和漢まじり	—	—	井塙館序	—(経済)	
47	7-【7】	筑後國郡亂記	—	3巻1冊	48丁	大本	25.2×18.0	和漢まじり	文政12	黒川喜太郎源一	—	記録	
48	7-【8】	庭訓往来抄	—	1冊	86丁	大本	28.0×18.5	和漢まじり	—	—	—	往来物	
49	7-【9】	中澤先生道話聞書 (中川道二述、八宮齋編)	5巻5冊	26丁	半紙本	24.4×17.0	和漢まじり	—	—	—	八宮觀農(八宮齋)(寛政3序)	心学	
50	7-【10】	野芹	(細井平洲(徳民))	3巻1冊	24丁	大本	27.1×19.4	和漢まじり	—	—	如来先生序	—(経済)	・『嘆鳴館遺草』の卷1。刊本あり(9-①)。
51	8-【1】	山村司秘閣集	土屋但馬守殿之留 守居	6巻6冊	42丁	半紙本	23.3×16.2	和漢まじり	文化8	石陳人	服部根一大郷(享和4跋)	—(政治)	
52	8-【2】	万勝秘録	平守禮輯	1冊	73丁	半紙本	23.6×16.3	和漢まじり	—	—	—	—	
53	8-【3】	二葉草	—	1冊	51丁	半紙本	23.7×16.2	和漢まじり	—	—	—	—(農政)	
54	8-【4】	牧民類説	利根川寛故力	1冊	53丁	半紙本	24.1×17.0	和漢まじり	—	—	—	—(農政)	
55	9-【1】	〔覚〕	—	1冊	93丁	横中本	13.6×19.2	和漢まじり	—	—	—	—	
56	9-【2】	年代署記	小枝彦五郎所持	1冊	40丁	横小本	12.5×17.2	和漢まじり	嘉永2	—	—	—(日記)	
57	9-【3】	蠹魚巣	—	2冊	30丁	半紙本	22.7×16.5	和漢まじり	—	—	—	—	
58	9-【4】	惺楚篇	大華源鵬(芭戸大華)	1冊	66丁	半紙本	23.8×17.0	和漢まじり	—	—	細井徳民序、源鵬(寛政元序)、神保簡(寛政2跋)	伝記	・『羽陽叢書』、『日本偉人言行資料』16、『日本文庫』16所収
59	9-【5】	論語講義聞書	—	1冊	46丁	半紙本	23.6×16.9	和漢まじり	安永9	—	—	漢学	・手島堵庵による講義。
60	10-【1】	科定類聚	—	3巻3冊	103丁	横中本	14.4×20.8	和漢まじり	—	—	—	—(法制)	
61	10-【2】	明和後風土記	—	3巻1冊	58丁	半紙本	22.1×14.7	和漢まじり	天保8	八代保奥源安貞	—	—(記録)	・明和事件
62	10-【3】	宝曆仙石百姓一揆談	—	1冊	39丁	半紙本	24.6×15.2	和漢まじり	—	—	—	—(記録)	
63	10-【4】	夢の世嘶し	—	1冊	22丁	半紙本	23.8×16.8	和漢まじり	慶応4	—	—	—	
64	10-【5】	洋外紀略	安積良齋(安積信)	2巻1冊	79丁	大本	26.2×18.4	漢文	—	—	安積良齋(安積信)(嘉永元序)	外事・海防	
65	10-【6】	自題燕澤石塔放首	臯坦	1冊	9丁	大本	26.3×17.5	漢文	—	—	—	—	
66	11-【1】	聞詁秘鑑	—	1冊	88丁	横中本	13.2×20.0	和漢まじり	—	中寫文行	—	法制	
67	11-【2】	赤穂四十七士辨四 先生之説并味池脩 先生説	浅見正定(浅見納 齋)、巖崎守齋、 三宅尚齋、佐藤直 方識	1冊	17丁	半紙本	24.2×17.1	和漢まじり	安永4	大西朝照軒	—	—(評論)	・赤穂事件
68	11-【3】	地方二葉草	—	1冊	38丁	半紙本	24.4×17.2	和漢まじり	—	—	—	—(農政)	
69	11-【4】	龜田太平記	—	1冊	46丁	半紙本	24.3×17.1	和漢まじり	—	荒谷富作	—	—(記録)	・「秋(田)藩佐竹銀札一件始末」(扉の記述による)

17	4 - [1]	介石記追加	—	5巻2冊	74丁	半紙本	24.7×16.5	和漢まじり	宝暦4	山口秀逸	跋文あり。	実録	・赤穂事件
18	4 - [2]	五常五倫名義	室直清(鳩巣)【享保16】	1冊	27丁	半紙本	24.0×16.8	和漢まじり	文政8	肥後氏盛貞	室直清(鳩巣)序、鳩巣老人(室鳩巣)(享保16跋)	漢学	・「国民思想叢書」民衆篇、「修養文庫」仏訓上、「日本教育文庫」訓説篇上、「日本精神文献叢書」15所収
19	4 - [3]	駿江大命記	—	2巻2冊	32丁	半紙本	24.1×17.1	和漢まじり	天保6	源昭順	—	政治	
20	4 - [4]	耕作嘶	中村喜時編	1冊	54丁	半紙本	23.8×17.1	和漢まじり	安永5	—	—	農業	・「近世地方経済史料」2所収
21	4 - [5]	治法普請秘事	—	1冊	59丁	半紙本	24.3×17.2	和漢まじり	—	—	—	-(農政・治水)	
22	4 - [6]	出定笑語	(平田篤胤)	4巻4冊	57丁	半紙本	23.0×16.3	和漢まじり	—	—	—	思想	・「日本思想闇諍史料」8、「日本先哲叢書」6、「平田篤胤全集」(平田学会)、「平田篤胤全集」9(内外書籍)、「平田篤胤叢書」乾、「平田翁講演集」、「有朋堂文庫」直毘盡・駄成概言・靈能真柱所収
23	4 - [7]	生財辨	糸雲解【文政12】	1冊	15丁	半紙本	24.3×16.5	和漢まじり	明治23	西善太郎	—	経済	・「岐阜県郡上郡役所」の算紙。 ・「通俗経済文庫」2所収
24	4 - [8]	松翁先生道話集	八宮觀農(八宮斎)【寛政4】	4巻4冊	31丁	半紙本	24.9×17.5	和漢まじり	寛政4	能見氏	八宮觀農(八宮斎)(寛政4序)	心学	
25	5 - [1]	蓼溪先生上書記	筒井蓼溪(筒井政憲)	1冊	46丁	半紙本	23.5×16.2	和漢まじり	大正5抄録	—	—	-(政治)	・卷末に「原本帝國図書館所蔵 大正五年一月抄録」の書き込み。
26	5 - [2]	新田舉聞三付損益論	—	1冊	8丁	半紙本	23.8×16.9	和漢まじり	—	—	—	-(農業)	
27	5 - [3]	商人平生記	—	1冊	34丁	半紙本	22.1×15.0	和漢まじり	—	—	伴祐佐(元文序)	-(商業)	
28	5 - [4]	仙北見聞記	—	1冊	47丁	半紙本	23.6×16.1	和漢まじり	文久元	高柳傳治重成	—	(記録)	
29	5 - [5]	浅見先生小学講義	—	1冊	11丁	半紙本	23.6×16.9	和漢まじり	宝暦3	波々伯部氏正明	—	(漢学)	・浅見先生=浅見綱齋
30	5 - [6]	両都秘事談	—	2巻2冊	18丁	半紙本	24.7×15.9	和漢まじり	享和3	伊藤市兵衛	—	-(実録)	・尊号事件
31	5 - [7]	新選人知録	衆聖堂獨醉、太田忠次右衛門平忠里丞	2巻2冊	29丁	半紙本	24.2×17.0	和漢まじり	—	—	太田忠次右衛門平忠里(宝暦4序)	-(思想)	
32	5 - [8]	新吉原根元由緒書	—	1冊	11丁	半紙本	23.1×16.0	和漢まじり	—	—	—	-(記録)	・算紙
33	5 - [9]	菱荷園文集	石正猪仲継(石島正猪)著、舟正昇叔龍校	5巻1冊	82丁	中本	19.7×12.9	漢文	—	—	南郭服元喬(宝暦8序)、縣河仕醫舟正昇(明和7跋)	漢詩文	
34	5 - [10]	高島上表	高嶋喜平	1冊	44丁	半紙本	23.7×17.0	和漢まじり	—	—	—	-(政治)	
35	5 - [11]	聖德太子傳磨講	能令院法眼権大僧都一源海高和尚位【宝永5】云	1冊	127丁	半紙本	22.5×16.8	漢文	—	—	—	-(伝記)	
36	6 - [1]	大坂騒動之事	—	1冊	37丁	大本	27.3×16.9	和漢まじり	弘化3	杉本万封家	—	-(実録)	・大塩事件
37	6 - [2]	手向草	安藤新助、藤原為明	1冊	24丁	大本	26.6×17.5	和漢まじり	—	—	—	伝記	
38	6 - [3]	増補旅使奏訓	(赤津時倫)	3巻3冊	37丁	大本	25.7×16.9	和漢まじり	—	—	—	教訓	
39	6 - [4] - (1)	中山記	—	1冊	39丁	半紙本	24.9×17.2	和漢まじり	—	—	—	-(実録)	・尊号事件
40	6 - [4] - (2)	中山夢物語	—	1冊	47丁	半紙本	22.8×16.1	和漢まじり	嘉永5	井上雜書	—	-(実録)	・尊号事件
41	7 - [1]	難波美家解	—	1冊	62丁	半紙本	23.8×16.4	和漢まじり	—	—	—	-(実録)	・大塩事件
42	7 - [2]	聽詔秘鑑	—	1冊	92丁	半紙本	23.7×16.2	和漢まじり	—	—	—	法制	・「聞詔秘鑑」(10 - [1]) の別名
43	7 - [3]	長坂采軒翁光珍先生之事跡書	—	1冊	52丁	大本	26.3×16.3	和漢まじり	—	—	—	伝記	
44	7 - [4]	三ツの品そろひ	—	1冊	8丁	半紙本	24.5×16.5	和漢まじり	—	—	—		



## 津田秀夫文庫蔵書目録

- (凡例) 1. 2冊以上ある和本については1冊目の書誌をとった。
2. 書名については、『国書総目録』に記載されている書名を採用した。『国書総目録』に掲載されていないものについては、卷首にある書名を採用した。
  3. 著者・編者について、『国書総目録』などを参考に補注したものについては、( )内にそれを付した。
  4. 書型について、筆者が便宜的につけたものについては、[ ]で括った。
  5. 書肆については、住所は省略し、( )内に都市名を記述した。
  6. ( )で括った分類は、松本による分類である。

### ①写本

通番	整理番号	書名	著者・編者 〔著作年〕	数量	丁数	書型	寸法 〔タテ×ヨコ(cm)〕	文体	書写年	書写者名	序文・跋文	「国書総目録」に よる分類	備考
1	1-【1】	寛政公武問答	—	3巻1冊	42丁	綴長本	26.5×16.5	和漢まじり	慶応2	矢部留五郎	—	—(実録)	・尊号事件
2	1-【2】	師原	三浦晋(三浦梅園)	1冊	35丁	半紙本	23.2×16.2	和漢まじり	天保14	願誠〔印〕	三浦晋(安永4序)、林 甚五郎跋	—	・「日本教育思想大系」三浦梅園所収
3	1-【3】	茂郷舟二子返續二 篇	茂郷	1冊	32丁	大本	27.0×19.0	和漢まじり	丁未年	—	—	—(家伝)	・「二子」：出羽莊内府刺史酒井家の近臣
4	1-【4】	玩貨名物記(御飾 記)	(相阿弥)	1冊	27丁	半紙本	23.2×17.3	和漢まじり	—	—	万治3序	茶道	・「群書類從」遊戯所収
5	1-【5】	賈日積	—	3巻1冊	70丁	大本	25.7×18.5	和漢まじり	寛延4	—	—	—	
6	1-【6】	面白草紙	勢喜佐	4巻4冊	38丁	半紙本	24.8×16.7	和漢まじり	—	—	—	—(歴史)	・「信」の巻のみ横中本
7	1-【7】	懸遺草附錄	(近藤忠質)	5巻3冊	46丁	半紙本	22.7×15.1	和漢まじり	—	—	—	伝記	
8	1-【8】 -(1), (2)	加賀藩御年譜	—	3巻2冊 (巻2欠)	68丁	半紙本	22.1×15.9	和漢まじり	—	—	—	伝記	
9	1-【8】 -(3)	参議公年表	—	1冊	50丁	半紙本	22.1×16.0	和漢まじり	—	—	—	伝記	
10	3-【1】	〔弘化五戊申年か ら嘉永六癸丑年ま での日誌〕	—	1冊	31丁	半紙本	24.9×17.7	和漢まじり	弘化5～ 嘉永6	—	—	—(日記)	
11	3-【2】	風土叢測	山田好之	1冊	39丁	大本	25.4×18.0	和漢まじり	文化元	兼田氏	山田好之(享保12序)	—(農業)	
12	3-【3】	経済隨筆	橋本敬簡	2巻2冊	42丁	大本	25.1×18.1	和漢まじり	文政10	—	橋本敬簡(文政8序)	—(経済)	
13	3-【4】	国々高都村附	—	1冊	60丁	半紙本	23.7×16.2	和漢まじり	—	—	—	—(農政)	
14	3-【5】	心学典論事考	—	4巻1冊	40丁	大本	26.8×19.9	漢文	—	—	—	臨濟	
15	3-【6】	松翁夢物語	八宮觀農(八宮齋) 誌、芦月書写	1冊	43丁	半紙本	23.8×16.8	和漢まじり	寛政6	—	—	—(心学)	
16	3-【7】	正保遺事	(矢野玄道)	1冊	28丁	半紙本	24.7×17.6	和漢まじり	—	鈴木温	徳教敷于四海耶負衡跋、 源敬(寛政8跋)	伝記	